

ROTARY CONNECTS THE WORLD



第2780地区
大磯ロータリークラブ



ロータリーは世界をつなぐ

2019～2020年度RI会長
マーク・ダニエル・マローニー

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13

TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30

大磯プリンスホテル

TEL：0463-61-1111

FAX：0463-61-6281

会長 石山 智司

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 桜川 誠

第2492回 例会

令和2年2月20日 No.20

■司会：瀬戸 亨一

■点鐘：石山 智司

■合唱：我等の生業

◇プログラム・2月27日：休会・3月5日：大藤勉さん、理事会・3月12日：休会・3月19日：河本親秀さん

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2492回	16(14)	10	71.43%	—	—
2490回	16(14)	10	71.43%	—	—

◇欠席者（4名）

原、太田、布川、田中さん

◇メイクアップ（0名）



我等の生業

存在で、なくてはならない主人です。毎日自由に私を昼間活動に黙って見送ってくれる事に感謝の思いでいっぱいです。主人が家から出るなど言ったら、こうしてロータリーに來れないので感謝の思いでいっぱいです。皆さんお祝い有り難うございました。

（今もラブラブご馳走様!!!）



◇出席報告

百瀬恵美子委員

◇ゲスト：松宮剛さん（茅ヶ崎湘南）

2004-05年度2780地区ガバナー

2012-14年度RI理事

◇おめでとうございます



結婚記念日：

百瀬恵美子さん

お花いただき有り難うございます。

2月13日で結婚52年目、もう空気か水の



◇会長報告

石山智司会長



2月6日の理事会報告：

1. 次年度ロータリー手帳3冊購入。希望者は申し出てください。
2. ロータリー財団と米山奨学会への追加個人寄付をお願いする事を決定。
3. 平塚RCとの合同例会：4月16日(木)12時より大磯プリンスホテルにて通常例会形式で開催する事を決定。

◇幹事報告

桜川誠幹事



回覧：

1. 会長エレクトセミナー＝P E T S＝開催の案内：3月10日(火)藤沢ミナパーク
2. 新型コロナウイルス感染予防についてのお知らせ
3. 本日配布の3月行事予定の訂正：
(1)3月5日のフォーラムを大藤さんの卓話に変更下さい。
(2)3月21日(土)～22日(日)：インターアクト泊研修会は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。

第8グループ会長幹事会の報告：

1. 杉岡ガバナーから会員増強を強く推進するよう杉山ガバナー補佐に要請があった。
2. 第5グループ(相模原地域)の津久井RC(会員9

名)と津久井中央RC(会員16名)が合併する事が決まった。(注：津久井中央RCから2022～23年度のガバナーに佐藤 裕一郎氏が選出されている)

3. ポリオ・チャリティコンサート：

日 時：4月5日(日)13:45開演

場 所：茅ヶ崎市民文化会館

定員1300名のところ、参加申込が現在200名くらいしか埋まってないので推進願いたいとの要請。

4. 昨年出来なかった大磯市での第8グループによるポリオ撲滅キャンペーンを5月17日(日)に実施します。(百瀬さんが既に場所を予約されている)詳細は3月の会長幹事会で、地区公共イメージ委員会の小林委員が説明予定。

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

河本親秀委員



・石山会長：松宮元RI理事、来訪有り難うございます。本日の卓話よろしくお願い申し上げます。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・桜川幹事：松宮様ようこそ。本日は卓話よろしくお願い申し上げます。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・百瀬さん：松宮様ようこそ、楽しんで下さい。よろしくお願い申し上げます。結婚記念日のお花ありがとうございました。

・井上さん：松宮さんようこそ。よろしくお願い致します。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・守屋さん：松宮さん本日は大磯へようこそ。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・新宅さん：松宮PG、元RI理事様本日は卓話よろしくお願い致します。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・瀬戸さん：松宮様ようこそいっしょにしました。本日は卓話よろしくお願い致します。

・鈴木さん：松宮様、卓話楽しみにしております。百瀬さん結婚記念日おめでとう ございます。

・河本さん：松宮元RI理事ようこそ。やっとな願が叶いました。卓話よろしくお願ひ致します。百瀬さん結婚記念日おめでとうございます。

☆河本親秀地区研修協議会実行委員：2月27日（月）久保田ガバナーエレクト参加の下、平塚商工会議所で地区協実行委員会の正・副委員長会議がありました。そこで新型コロナウイルス感染予防対策の話が出て、勉強会はやらねばならないが、懇親会は中止する事が決まりました。登録料を8,000円と考えていたのを7,000円にする事が決まりました。

2月19日付で杉岡ガバナーから各クラブ宛に新型コロナウイルス感染に過敏にならないように、しかし十分気をつけるよう政府発表ガイドラインを添付した文書が来ています。その中に2月22日の第5グループのIMを中止する事が決まった旨の知らせが入っています。皆さん用心して参りましょう。

◇卓話

◆◆◆ロータリー談◆◆◆

松宮 剛 RI元理事



3年ほど前に、大磯中学校前のマンションに移って参りましたが、現在4歳、2歳、1歳の孫の世話を頼まれて茅ヶ崎にいる事が多くなっています。

私がロータリーに入会したのは1982年、38年にあります。昭和22年2月2日生まれの73歳。今年の誕生日は実に良くて2020. 02. 02と2が並びました。この2月2日（日）には茨城のIMに招かれて行きましたところ、誕生日祝いという事でぬいぐるみを頂きました。それを誰かがフェイスブックに出したらしく拡散しているようです。

新宅さんとは散歩の途中でよくお会いしています。大体”湘南平”へ行って、大磯町の東の外れから海に出て帰ってきます。約10キロです。茅ヶ崎は小高いところがないので、平坦なところばかりを2時間

半ほど歩きます。昔は顔が白かったんですが、今は外に出る事が多くなって日焼けしたまんまになっています。

こちらの河本さんは尊敬するロータリアンで、皆さんもそうと思いますが、まずお元気ですね。茅ヶ崎でお見かけすると自転車で、その軽快な感覚は凄いと思います。間もなく90歳とか。驚嘆に値するのは、何時も一会員であって、どんなクラブのお役もおやりになって、何方かが欠けているとその役割までやっておられる。それは皆さんの宝だと思います。

今日のお話は河本さんから2~3日前でした。ロータリーにはノーがないので…。最近10年くらいは何か話をする時はパワーポイントに頼る事が多かったんです。今は殆どの方がパワーポイントを使います。その使い方も様々で、原稿がスライドに書かれてあってそれを読み切るとそれで終わりという人もある。うちの家に言わせると、「その時の話者の情熱と意気込み、どんな感覚で捉えているか、語っていない事も知る事が出来るという事で、できるだけスライドは少ない方が良い。」私が理想的な講演者は養老孟司さんで、動き回って、ホワイトボードにちょこちょこっと書く、ああいう感覚で出来るようになったら素晴らしいと思っています。今日はPPTに頼らないでメモだけでお話ししようと思います。

皆さん最近になってロータリークラブで気になっている事はありませんか？

最近気になること：

ローターアクトクラブの事（規定審議会）

規定審議会でローターアクトクラブがロータリークラブになる事が承認された事。

ローターアクトの活動はRI活動の一つでした。ローターアクターはロータリーの受益者でありました。その彼らが会員の資格として登場して来るという事です。ローターアクターとそれについて話し合った事がありますが、彼らは最近のRIはローターアクトの事を何にも考えていないと言うんですね。会員を増やすとか寄付金を増やすとかの手段…。日本の現実を見ると、殆ど日本のロータリークラブのお世話になる事を前提にローターアクトクラブの活動をしている彼らが混乱するでしょうし、30歳で卒業するものだったのが上限が無くなった。辞める予定だった人が一体どうしようという事も具体的な問題として頭を悩ませています。このローターアクターが会員資格として決まった規定審議会。この規定は1日目は否決されました。2日目にどういう根回し

をしたのか？もう一度持ち出して採決した！、相当強引な手法を使っていると言う気がします。規定審議会というのは自由な議論の場ではなくなっているのかも知れない。

RI理事会と事務総長の関係

事務総長(ジョン・ヒューゴ氏)はロータリーが事業体でないにもかかわらず、今回の審議会で企業と同じCEOという称号をつけた。昔は規定審議会の承認を得ないで、彼の名刺にCEOとあったので、これを名刺から取ってもらうことを理事会が要請した＝私が理事の時の2012年＝彼の特徴というのは基本的にロータリーの本部に居なければいけないのに殆どいない。対外的にロータリーの顔として経済団体など色んなところへ行っていた。

私が2年間理事をしていたときに感じたのは今の理事会というのは、ジョンヒューゴ事務総長を中心とした本部職員たちのプランの追認機関になり下がっている、もう最高の議決機関ではなくなっているように私は感じました。理事会には相当の案件が出されますが、一つはっきりしているのは、事務局から或るプランが一つ出ると、その具体的内容とか詳細について、次の理事会までに返答が欲しいと言われる。これを頭からノーと言えませんが、若干の修正をするくらいで終わるか、場合によってはそのまま承認されます。

事務職員はずっとその仕事をしている、理事は任期が2年。丁度クラブでいえば長期にわたって仕事をしている事務局と新会員との間の感覚の違いが有るのではないのでしょうか。事務局員の方が何でもよく知っているという感覚です。最近それを強く感じます。

本来のロータリーの有り様を訴えようとしてもそれを議論できるような状況に今はないという感じがします。

RI会長へのインタビュー

RI会長候補は最近20名を超えたりします。その候補者に対して理事会からのインタビューが有ります。そのときの質問事項が非常につまらないというんでしょうか？例えば「戦略計画を推進するに当たって、あなたの性格がどのように適しているか？」、「理事会と管理委員会と事務局との関係をどのように今より良くして行くために、どのようなアイデアが有りますか？」、「会員が120万人で停滞しているが、それを打破するためにあなたはどのような策略を持っているか？」、「会員資格について何か特別

のアイデアが有りますか？」そういう類いのインタビューです。

我々が求めている「あなたは国際ロータリーをどのように捉えているか？、どうで有るべきと思うか？」、そんな質問は何もない。既に路線に有る事に関して、あなたはどれだけ貢献出来るかと言う尺度で選ばれますから非常に気の毒だと言え言えます。

今度ドイツから会長が出ます、その方は私の2年目の理事の時が一緒でした。彼がどんな感覚の人が分かっていますが、国際協議会では相当我慢して、上っ面の話しか出来ないでいた。恐らくやがて洗脳されて行くんだろうなという感じがします。

ポリオ根絶の難しさ

公式に寄付を集め始めた1985年からもう35年になります。私たちロータリアンが一人ひとり具体的に約束したかどうか分かりませんが、世界の子供たちに約束した約束を果たさなければいけないという名の下に、ここまで来ました。ここ数年に比べると今年は野生株による感染者が増えています。200名くらい。去年、一昨年は数十名でした。一番気になるのは、今パキスタンとアフガニスタンの2カ国となっていますが、それではなぜ今インドに沢山の資金を落として接種に行かないといけないのか？今発生しているコロナウィルスのように何処へどのように走って行くか分からないので、一旦根絶した国でも再発を防ぐために毎年巨額の資金を投じてワクチン接種をしなければならない。終わらないんです。しかしここまで来たので、一時は根絶の宣言をしなければいけないし、我々もその役割の一端を担っている自覚は必要です。非常に困難な事をやっている…。

ライオンズクラブ：

この方向に行って更に会員増強、人道的な奉仕、世界的な奉仕活動を推進して世界的なチャリティナビゲーターとしての順位をもっと上げたいとして、今12年連続で四つ星を取っている。ライオンズクラブは9年連続四つ星を取っている。

ライオンズクラブは1917年に誕生しました。どのような感覚でライオンズは創立したかということと反ロータリーです。なので最初からライオンズにはロータリーの目的とは違う”We Serve”「我々は奉仕する」、あげて奉仕活動をする団体である、2週間に1回の例会とか、要するにロータリークラブが持っている、世間的に知られている閉鎖性、1業1会員制などに対する反旗として現れたライオンズクラブに10

0年あまり経ったらそれを追いかけているのがロータリーになってしまっている。ライオンズクラブの会員は今140万人で一時より減って同じ悩みを抱えている。

ロータリーの変遷：

ポリオ根絶が始まった1985年以前のロータリーの歴史的なものから見ると一言で言ってしまうとロータリーという意味合いでルール違反の可能性が強い方向で、事が決まってきた。

2004-05年の100周年に出た「奉仕の一世紀」、財団100周年に出た「世界で良い事をしよう」にデビッド・ホワードが書いてる「決議23-34」＝奉仕活動に当たっては、完全にクラブに自治権がある。国際ロータリーが”これをするな”と言ってはならないという文言がある。これが目の上のたん瘤であった。これをどうやってクリアするかという事が書かれている。象徴的な事はリーダーシップを取っているクレブ・ヌーフ会長（3Hプログラム提案）の前後の会長と医療の専門家が綿密に計画して、1978年国際大会（東京）で練りに練って講演したら大会終了前から日本人の寄付がどんどん入ったという。4万何千人かが参加した日本の大会で23-34をクリアした瞬間です。そうは言ってないですが、読まればそれが分かります。

私の思っているロータリー：

創始者の思い、ポール・ハリスは何を考えたのか

ポールハリスが弁護士の資格を取ってからの5年間の愚行をご存じでしょう。全米だけでなくヨーロッパにもイギリスにも放浪の旅を続けました。すべて自分で働いて日銭を得て5年間放浪しました。それは凄い事です。それで世界中に様々な人がいる事がよく分かった。それはロータリーを作る前段の有効なものだったであろうと思われる。1986年シカゴに弁護士事務所を開業しましたが、寂しかったという事をご存じだと思います。その中で彼が到達したのは、「この大都会のシカゴで、各種の職業から政治や宗教の立場を離れて、お互いの意見を大らかに認め会えるような人を、一人ずつ選んで親睦団体を作ったら、お互い助け合えるはずです。」と「ロータリーへの私の道」という晩年の図書に書かれています。

少なくとも親睦を中心に心の友を得たいとの事で始めているのです。大都会の殺伐とした雑踏、群衆の中の孤独を味わいながら。

2月23日にシルベスター・シールとともにスパゲテ

ィを食べて、シカゴ河を渡って行って洋服商ほか3人と会って自分の思い描いている話をする。＝皆さんもそう思うんですが＝初めて自分の構想を話す時に書いたものを読む事はしなかったと思うんです。聞き手の顔を見ながら話しているわけですから反応によっては、自分が本来言いたい事を変える事があったと思うんです。思う事の構想をそのまま述べる事が出来なかった。ですから始まったロータリーはお互いの事業の便宜を図り合う事が圧倒的な魅力となって、想像以上の発展をした。後年ビビアン・カーターが書いた「ロータリー解析」の中でポール・ハリスがインタビューに答えている中に、少なくとも「お互いの職業の便宜を図り合って儲け合うみたいなアイディアを持った事がなかった」と言っている。彼は親睦については深い思いがあった。それが間違っただけでスタートした事が爆発的に発展する原因になった。そのことにだんだん批判が高まって、それではそれをロータリアン以外にもそういった効果を伸ばしていこうとなったのに対してService, Not Selfと言ったのがフランク・コリンズ。やがて仕事が目的で入会してくるのはロータリアンとしては基本的であってはならないという方向へ表面は行くのですが、会員そのものはそれを楽しんでいました。

私たちが気をつけなくてはいけないのは、歴史を振り返ってみる時に、現実にはその場に行けませんから、残された資料によって判断するわけです。残された資料というか残されるような資料を残した人達感覚と大多数のロータリアンの当事者としてのロータリークラブの感覚とは大きなずれがあったという風に思われた方が良いでしょう。非常に肯定的な歴史を踏んでいるように思いますが、そうではない蠢いている大きなロータリアン相互の感情とか現実の付き合いの仕方とかには、そうでないものが沢山あったんだと言う事です。

1935年シカゴ大学にシカゴロータリーが調査を依頼した結果の本があります。これによると殆どの方が水面下でお互いの仕事に便宜を図る事をやっている。少なくとも職業奉仕というものが1928年に出来たのですが、それを理解しているシカゴのロータリアンは殆どいない。そういうことを結論つけています。そこではお勧めとしてニューディール政策というものを理解してそれを推進する力になる事はロータリーのあり方にとって良いのではないかなんて言っている。＝アメリカでは経済恐慌があった1929年以降ニューディール政策を勧めていた＝

歴史を振り返って理解しようとする時には大きな集団があったら、歴史に残すような資料を書く人の

グループは極く少数で、大多数はその時中心となる楽しみにしがみついていただろうと考えて頂くのが良いだろうと思います。



ロータリーの目的は何を語っているのか

ロータリーの目的は四つのテストに比べて難解でしょうか？以前ロータリーの目的の日本語訳は難解なので、日本語としてもっと分かり易いものにしようという動きがありました。しかし一つの縛りは、あまり語数を増やさない、補足の言葉が入ったりしないという中での変更ですから、改まってもの凄く分かり易くなったという事実は多分ない。圧倒的に分かり易さという点で四つのテストが上回っている。ですから四つのテストを意識している人は多いけれど、ロータリーの目的をその原文を深く理解し直してみようというエネルギーは少ないと思います。今のロータリーの目的は唯一の目的になったわけです。“Object”その前は6箇条あったのはご存じですか？1918年頃からその動きがあって1922年に国際ロータリーになった時にはそれで定まった。その時は今で言う主文みたいなものは6箇条の中の第1項だった。

「意義ある事業の基本に奉仕の理念を置く。」それを4個の補足的な目的の中で、奉仕の理想を奨励し育むと言う事になっています。6項選ばれた時は一番に思いつく事が順位があって、重要なものから基本的に書かれたと理解した方が分かり易い。その第1項に使われているのは事業の基礎に奉仕の理念を置きましょうという事ですが、この事業という言葉に訳されているのは“Enterprise”これはネイティブの方でないと分かり難いと思います。ロータリーの目的の中には職業に関する単語が4種類あります。Enterprise, Bussines, Profession, Ocqupation。このOcqupationが最も職業という一般的な言葉です。

Enterpriseを事業と訳しているのか？色んな辞書を調べてみると、冒険心、困難への挑戦・企て、企業、企業体などがある。いずれの言葉にしても企業体が実施する事ではなくて、ロータリアンやロータリークラブによって実施される活動を事業と言っているのは確かだと思いませんか？今の目的に主文があって、2,3,4, とある。その4項の中で使われている職業に関する言葉よりも主文で使われているEnterpriseの方が多分広義に使うものと思われる。BussinesとProfessionに分けている事は結局売買が主である業種に比べて芸術家も含めて専門職が大分異なった感覚で営まれている事があります。ロータリーはこれらも一緒にして同列に考えているという意味合いでこの2語を出している。Ocqupationというのは一般的な職業を言っていると理解して頂いてEnterpriseはロータリークラブが実施するような活動であって職業としての事業を言っているのではないと思います。これは私の見解です。日本の伝統的なロータリアンの職業奉仕の拠り所はこの主文に使われている事業という日本語が凄く大事だったろうと、そこで多少ボタンの掛け違いとか色んな疑問が膨らんだりと言う事があるんですね。結果的に言えば職業人の集まりですから職業的人生を如何に歩むかについてロータリーは奉仕の理念をすべての場面に適用して下さい、しようと宣言している事はよく分かる。そのことを一番端的に表しているのが第3項の個人的生活、職業的生活、社会的生活のすべてに奉仕の理念を適用しようとしていますから、1928年、先ほどのビビアン・カーターもこれがロータリーの目的であると書いています。

職業人の集まりである事からすると新宅さんが言われるように職業奉仕が日本で大事にされているばかりでなく、本来ロータリーの目的はそれであると強く訴えている事は確かです。

もう一つ職業奉仕に対する誤解があるのは初期の相互扶助＝自己利益につながるような事＝をやりながら、ただお互いが提供し合う職業は恥ずかしくない職業をお互い提供し合おうじゃないかと言う事がその後の職業倫理訓に繋がっていった。これはボールハリスにとっては違った意味で良い効果を生んだのではないかな。

皆さんもこれを切っ掛けにロータリーの目的を読んで頂いて、出来れば綱領の変遷と言うものをお読みになって、最初はお互いの事業を助け合うようになった事や親睦のこと、翌年になってシカゴに貢献(シカゴ市役所のそばに公衆トイレ建設)しようとなった。そこで目的が6項になった。目的が6項から4

項になった流れの中で見ると、4項だけで見ると分からない事が分かると感じます。

1911年に全米ロータリークラブ連合会が出来て、その機関誌の第1号にポール・ハリスが書いている「合理的ロータリアニズム」＝ロータリーの友に2~3回出ています＝の中に、「もし私が大きなコロシアムの中に立たされて大勢の人ちに一言言えと言われたら躊躇なく「寛容」と言う。」と書いています。この「寛容」は一般的には“Tolerance”です。＝ポール・ハリスが色んな文献の中でこの “Tolerance”を使っていますが、この時に使われているのは“Toleration”です。その事をこういう言葉で言っています。

「もし私たちのこのロータリーが、つかの間の存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方と私が互いの欠点を我慢し合うことの大切さ、すなわち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えます」

つまりお互いの欠点を我慢する事の大切さと言う意味で寛容という言葉を使っている。この英語の違いが日本語にしてみると見えません。どういう英語の言葉が日本語に訳されているかを見てみるのも良いのではないのでしょうか。

ロータリーの目的がどんな事を言っているのか皆さん自身で改めて考えて頂く事と、多様性を標榜するのであればどうしても寛容は必要だと、中核的価値観もあれで良いのか、戦略計画はそのまま進んで良いのだろうか、ロータリーの目的と新しいビジョンとの関係はどうなっているんだろうと言う事を皆さん方お一人おひとり考えて頂く切っ掛けになる事を望んで、私のスピーチを終わります。

編集者注：三省堂コンサイス辞典によれば

Tolerance：寛容、雅量、許容限度(医)

Toleration：寛容、黙認、信仰の自由

質疑：

新宅さん：人をロータリーに誘う時、ロータリーとはどんなクラブですかと問われた時に何と答えれば良いか？私は「世の中に良い事をしようとしている人が集まっているクラブです」と言っていますが・・。

松宮さん：ご自分の言葉にしておく事が大事ですね。それは一つの正解があるというのではなくて、「私は信念としてロータリーはこうだと思う。」と言う言葉に出来れば良いですね。

瀬戸さん：私は入会して1年半になりますが、ロー

タリアンにはノーがないと言う事を初めて知りました。色々目的とか歴史とか短い時間に聞かせて頂きまして少し理解度が深まりました。



バナー交換：茅ヶ崎湘南RC－大磯RC



石山会長：本日は卓話ありがとうございました。

以上